

アフターランチ・セッション 『3.11』 以後を考える

3月11日の大震災は未曾有の人的、経済的被害をもたらしましたが、直接の被害がなかった人々の生活にも不安や混乱を引き起こしました。人々の価値観やライフスタイルも、3.11以後は大きく変わらざるをえないとの声も大きくなっています。

こうした状況の中、学生たち一人一人が、この問題に真摯に向き合う機会を提供することは、学問の府である大学としての責務であると考え、本学の教員らがそれぞれの専門的立場から、震災に関連したテーマで話題を提供する特別連続講演（アフターランチ・セッション）を企画いたしました。夏休みには、震災関係のボランティア活動に参加する学生も多いようです。災害の実情や背景についてあらかじめ学んでおくことで、その経験を、より深いものにできるのではないかと期待しています。

昼食後のひと時、今回の震災について、被災された方々について、そしてこれからの社会のあり方と皆さんの生活について、一緒に考えてみませんか。

<記>

回	日付	講演タイトル	講師	場所
第1回	7月1日(金)	被災地の今	永田佳之(教育学/初等教育学専攻 准教授)	332 教室
第2回	7月5日(火)	災害の心理学	小城英子(人間関係専攻 専任講師)	宮代ホール
第3回	7月8日(金)	災害と報道	小城英子(人間関係専攻 専任講師)	宮代ホール
第4回	7月14日(木) 共催：教職課程委員会	防災と危機管理 —3.11 に学ぶ災害に強い学校づくり—	植田誠治(教育学/初等教育学専攻 教授) 数見隆生(東北福祉大学 教授)	宮代ホール
第5回	7月15日(金)	被災地ボランティア報告・説明会	シスター畠中(聖心会) 山崎恵(人間関係専攻 副手)	グリーン・パーラー

※時間はいずれも、12時30分～13時20分です。(7月1日のみ、12時30分～13時10分)

学生、教職員はどなたでも参加できます。

<注意>

- 東日本大震災だけでなく、1995年の阪神・淡路大震災、2004年の新潟県中越地震など、過去に類似の災害を体験している方の場合には、フラッシュバック(再体験/被災したときのショックや感情が鮮明によみがえること)が起きる可能性がありますので、その点に留意して受講してください。
- 講演中に、気分が悪くなったり、感情をコントロールできなくなったりした場合には、近くの教職員にお知らせください。

主催：聖心女子大学東日本大震災復興支援推進会議
問い合わせ先：マグダレナ・ソフィアセンター